

群馬県カモシカ適正管理計画
(第二種特定鳥獣管理計画・第五期計画)
資料編

令和8年3月

群馬県

【目次】

資料編

1	これまでの経緯	1
2	カモシカとシカの生物学的特性の違い	2
3	カモシカ保護地域設定状況	3
4	生息状況	5
5	被害状況	16
6	被害防除管理の状況	21
7	個体数調整による捕獲の状況	23
8	滅失状況	27

1 これまでの経緯

カモシカに係る制度的な取扱いの変遷及び本県における施策の状況を表－1として示す。

[表－1 カモシカの制度的変遷及び本県における施策の状況]

年度	内容
T14 (1925)	狩猟法改正によりカモシカの捕獲禁止
S9 (1934)	史蹟名勝天然記念物保存法により天然記念物指定
S30 (1955)	文化財保護法により特別天然記念物指定
S54 (1979)	環境庁、文化庁、林野庁による三庁合意 →天然記念物の指定を種から地域へ変更する方向へ施策転換 カモシカ保護地域の設定開始
S59 (1984)	越後・日光・三国山系地域カモシカ保護地域、関東山地カモシカ保護地域の設定
H11 (1999)	鳥獣保護法の改正により、特定鳥獣保護管理計画制度が開始
H18 (2006)	群馬県カモシカ適正管理計画（特定鳥獣保護管理計画・第一期）策定
H19 (2007)	嬭恋村において捕獲を開始
H21 (2009)	昭和村において捕獲を開始 個体数調整実施計画期間を11月～翌年10月までに設定
H22 (2010)	群馬県カモシカ保護管理計画（特定鳥獣保護管理計画・第二期）策定
H23 (2011)	片品村において捕獲を開始
H24 (2012)	沼田市利根町、中之条町において捕獲を開始
H27 (2015)	改正鳥獣保護法（鳥獣保護管理法）の施行 第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画制度が開始 →群馬県カモシカ適正管理計画（第二種特定鳥獣管理計画・第二期計画）策定
H28 (2016)	群馬県カモシカ適正管理計画（特定鳥獣保護管理計画・第三期）策定 川場村において捕獲を開始 中之条町において捕獲を休止
R1 (2019)	嬭恋村、沼田市利根町において捕獲を休止

年度	内容
R2 (2020)	群馬県カモシカ適正管理計画（特定鳥獣保護管理計画・第四期）策定 片品村、川場村において捕獲を休止
R3 (2021)	沼田市利根町において捕獲を開始
R4 (2022)	沼田市利根町、昭和村において捕獲を休止

2 カモシカとシカの生物学的特性の違い

カモシカとシカの生物学的・被害形態の特性の違いを表－2として示す。

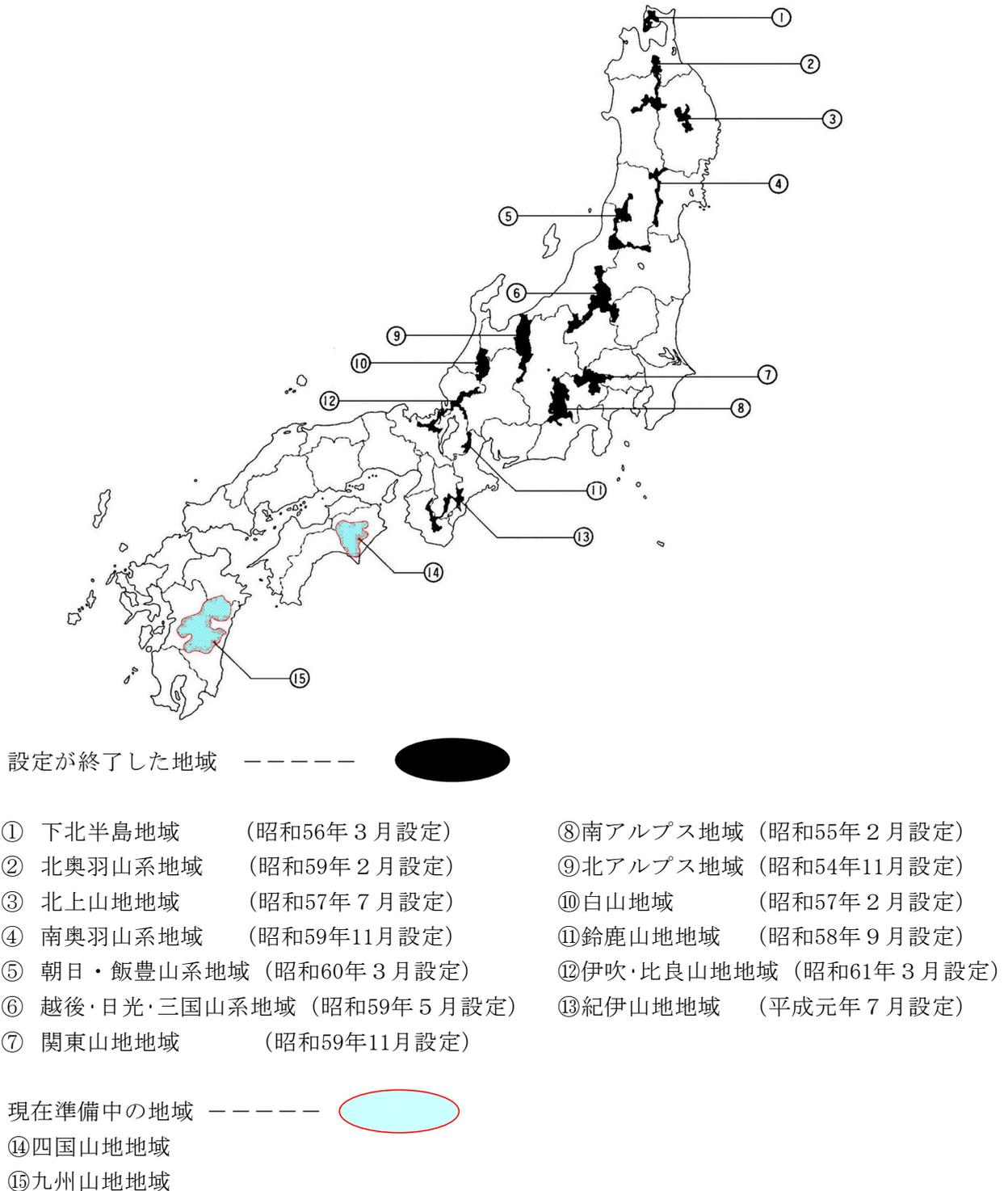
[表－2 カモシカとシカの生物学的・被害形態の特性の違い]

項目	カモシカ	シカ
社会	単独性（なわばりを持つ） →加害個体がある程度特定される	群れ性
密度	低い	高くなりうる
食性	ブラウザー（木本や草本の葉が主体） →自然植生への影響は小さい	グレイザー（ササやイネ科が主体） →自然植生への影響が大きい
性的二型	なし →雌雄の選択的捕獲が困難	あり →雌雄の選択的捕獲は可能
繁殖	ペア型 やや低い妊娠率・長い繁殖期間 →安定的な個体群変動	ハーレム型 高い妊娠率・やや短い繁殖期間 →急激な個体群変動
被害形態	林業：主に1～2齢級の幼齢林で被害が発生 農業：生息密度に関わらず、農地周辺になわばりを持つ個体が生息する場合に被害が発生	林業：幼齢林の枝葉から老齢林の樹幹まで被害が発生 農業：幅広い種類の農作物で被害が発生 ※被害は密度依存的に増加する

3 カモシカ保護地域設定状況

(1) 全国の状況

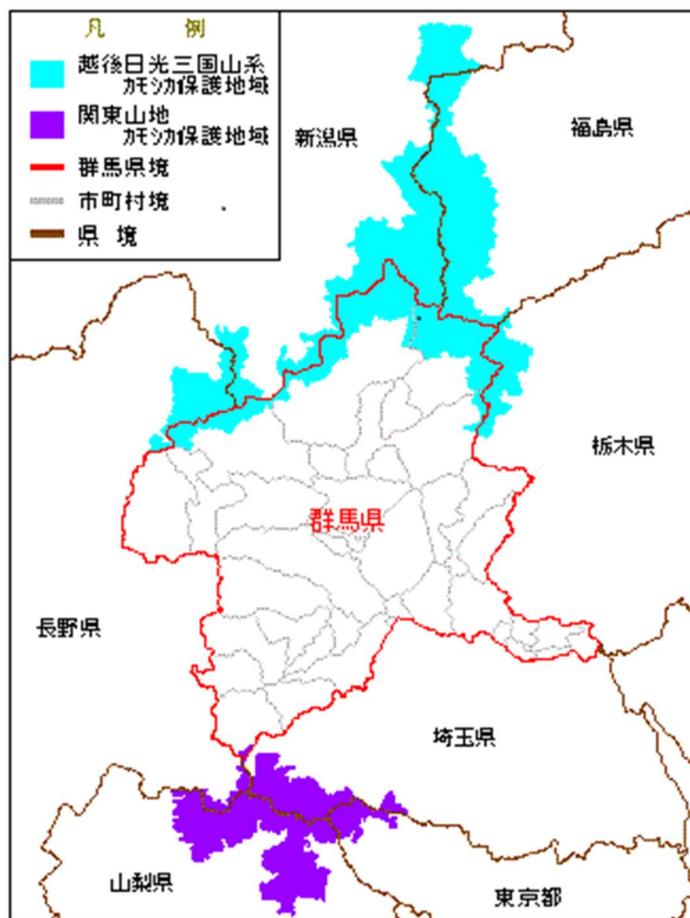
全国のカモシカ保護地域の位置及び設定状況を図-1として示す。



〔図-1 カモシカ保護地域設定状況〕

(2) 本県の状況

本県におけるカモシカ保護地域の設定状況及び概要を図－2及び表－3として示す。



〔図－2 本県のカモシカ保護地域の設定状況〕

〔表－3 本県のカモシカ保護地域の概要（昭和59年設定時）〕

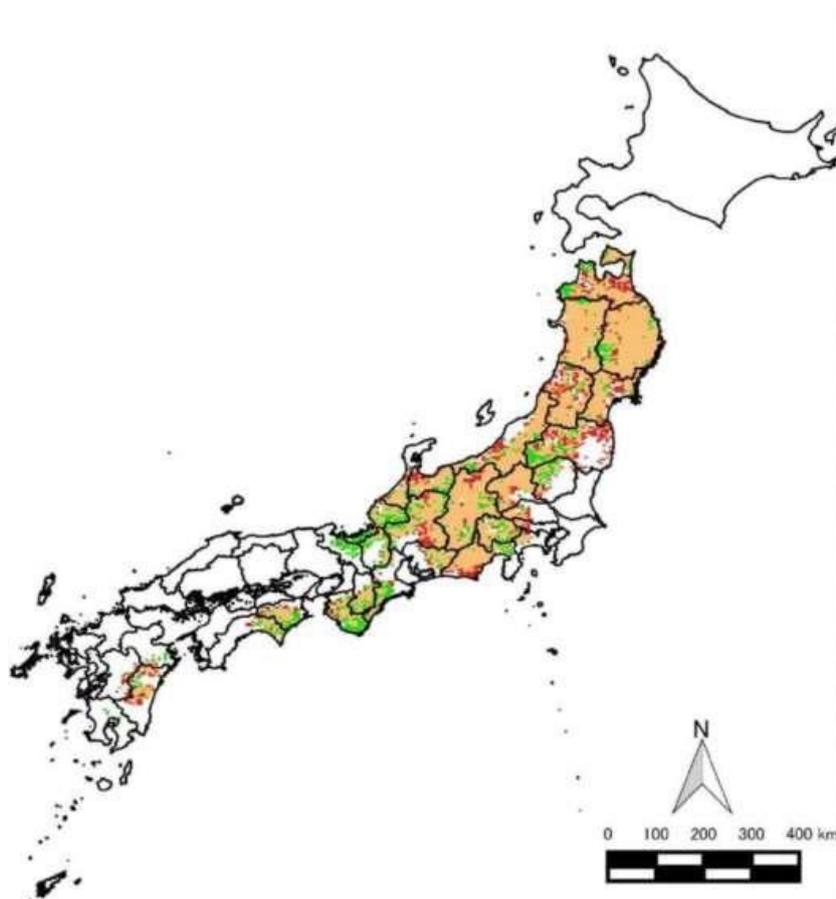
保護地域	関係県	設定年月日	面積 (ha)	うち群馬県分 (ha)		保有形態
				市町村名及び面積 (ha)		
越後・日光・三国山系	福島県 新潟県 長野県 栃木県 群馬県	昭和59年5月	217,934.55	57,192.18	中之条町 (旧六合村) 7,435 (旧中之条町) 1,189	国有林 国有林
					みなかみ町 (旧新治村) 2,487 (旧水上町) 23,310 片品村 21,740.18	国有林 国有林 国有林・ 民有林
関東山地	東京都 埼玉県 長野県 山梨県 群馬県	昭和59年11月	76,460	235	上野村 235	国有林

4 生息状況

(1) 生息分布域

環境省が実施した第6回自然環境保全基礎調査(1998年度(平成10年度)～2004年度(平成16年度))では、本県の2003年(平成15年)におけるカモシカ生息区画率は76.6%であったが、中大型哺乳類分布調査(2018年度(平成30年度))では、2017年(平成29年)におけるカモシカ生息区画率は79.9%となり、14年間で3.3%増加している。

本県のカモシカ生息区画率は、全国平均の31.6%より48.3ポイント高く、関東地方平均の28.7%より51.2ポイント高く、全国の中でも県全体のメッシュ数に占める割合が高いという結果となった。これは、単純計算で県土の約5分の4の地域までカモシカの分布が広がっていることになる(図-3、図-4、図-5、表-4)。ただし、両調査における分布情報は、滅失情報を含めて一度でもカモシカが確認された地点を5kmメッシュに換算して示しているため、分布地域は過大に評価されるおそれがあることに留意する必要がある。



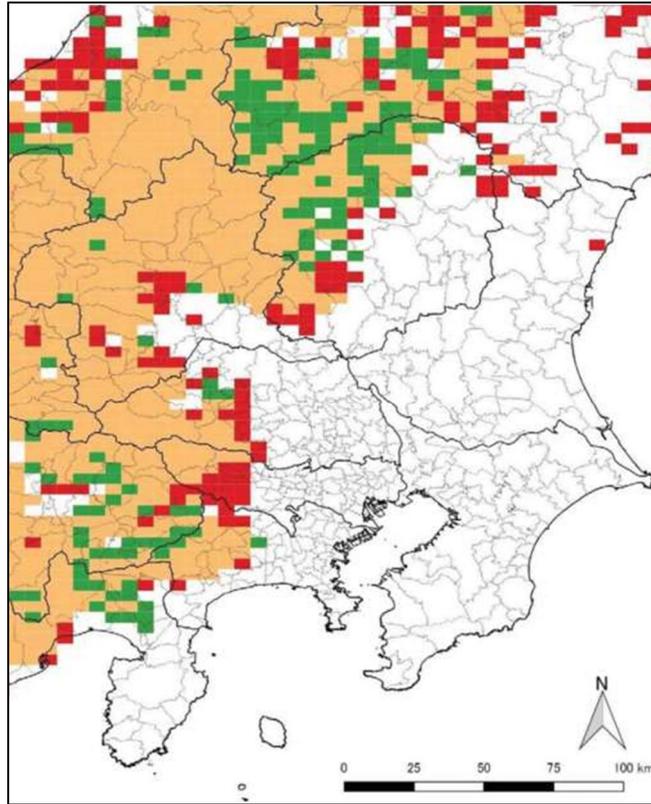
凡例

第6回調査(2003)のみでカモシカの生息情報が得られた5kmメッシュ

第6回調査(2003)と平成30年度中大型哺乳類分布調査でカモシカの生息情報が得られた5kmメッシュ

■平成30年度中大型哺乳類分布調査のみでカモシカの生息情報が得られた5kmメッシュ

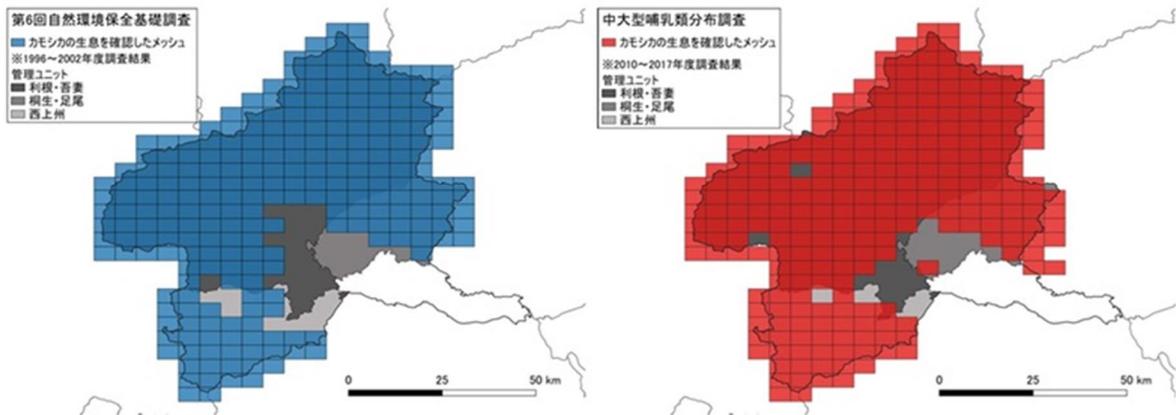
〔図-3 カモシカ全国分布メッシュ比較図〕



凡例

- 第6回調査(2003)のみでカモシカの生息情報が得られた5 kmメッシュ
- 第6回調査(2003)と平成30年度中大型哺乳類分布調査でカモシカの生息情報が得られた5 kmメッシュ
- 平成30年度中大型哺乳類分布調査のみでカモシカの生息情報が得られた5 kmメッシュ

〔図-4 関東地方におけるカモシカの生息分布メッシュ〕



第6回自然環境保全基礎調査 (1996~2002年)

中大型哺乳類分布調査 (2010~2017年)

〔図-5 カモシカの生息分布メッシュ (5 kmメッシュ) の比較〕

[表－4 カモシカの生息区画数・生息区画率の増減]

群馬県の 総区画数	生息区画数			生息区画率		
	2017年	2003年	増減	2017年	2003年	増減
308	246	236	+10	79.9%	76.6%	+3.3%

(2) 生息環境

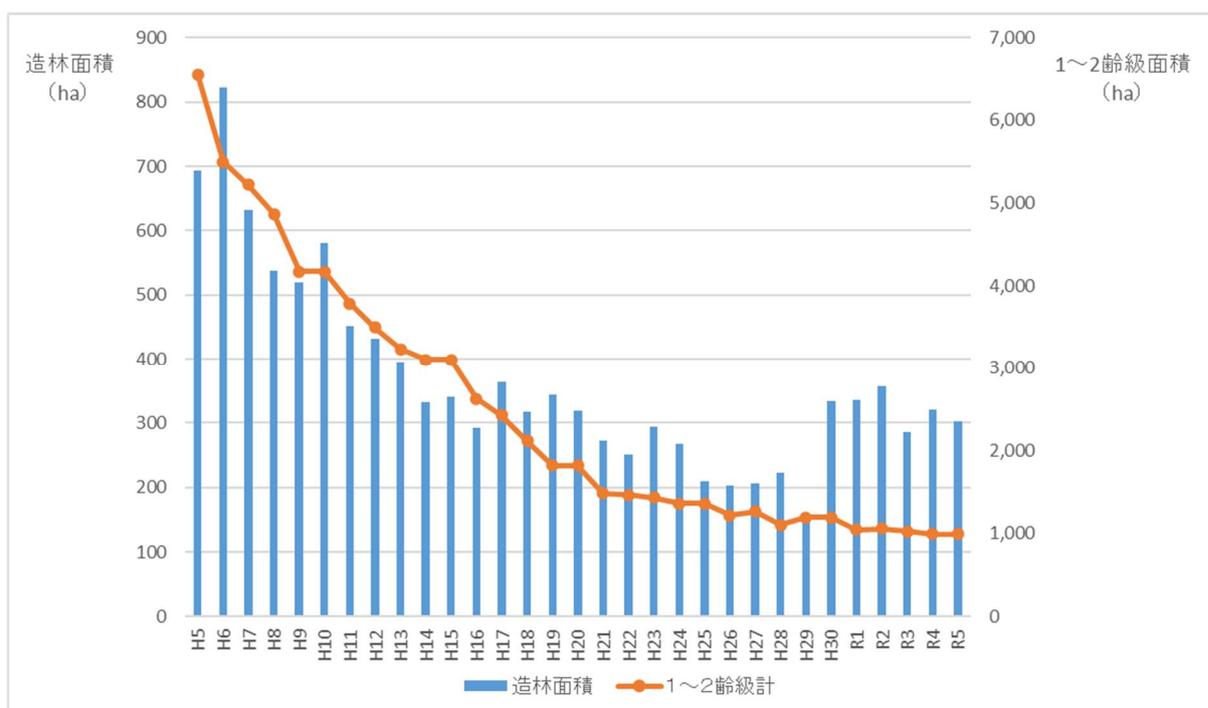
本県の県土面積（636,228ha）のうち、森林面積は427,046haであり67%を森林が占めている（表－5）。県内の造林面積は減少傾向であり、近年はおよそ300ha程度で推移している。また、民有林における齢級別面積を見ると、草本類等が生育しカモシカの採餌場所となる1～2齢級の面積は少なくなっており、減少傾向が続いている（図－6、図－7）。

[表－5 森林の現況]

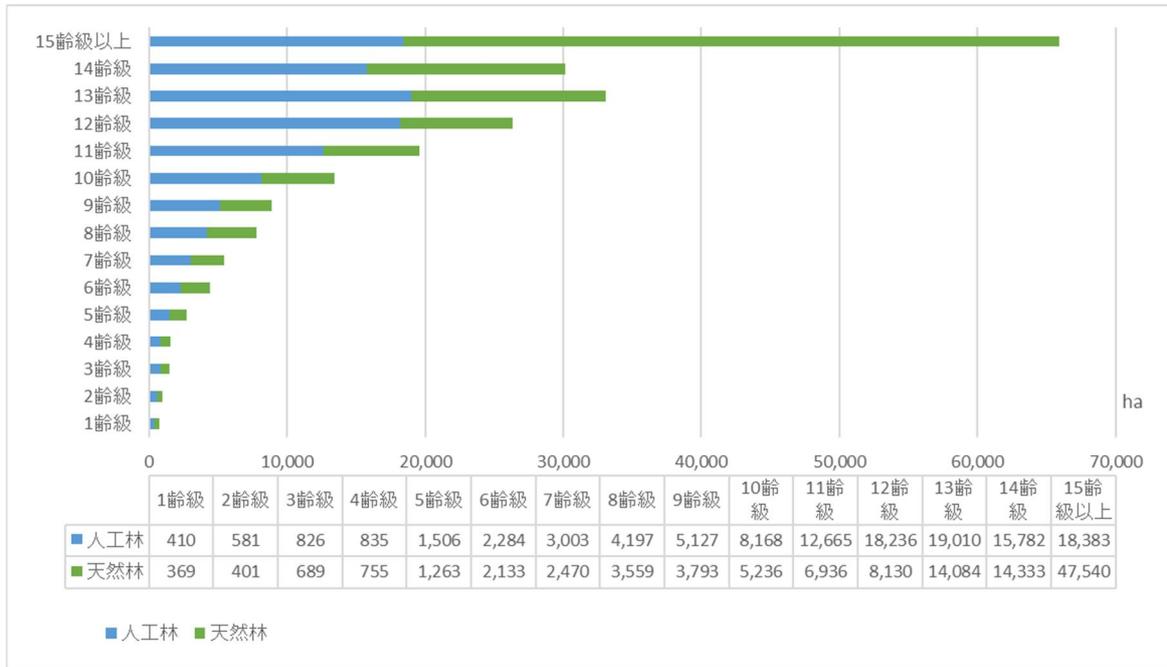
(単位：ha)

県土面積	国有林		民有林		総数		
	うち森林面積	天然林等 面積	人工林 面積	天然林等 面積	人工林 面積	天然林等 面積	人工林 面積
636,228	427,046 (森林率67%)	131,116	65,095	119,822	111,013	250,938	176,108 (人工林率41%)

2024年（令和6年）4月1日現在



[図－6 造林面積及び1～2齢級面積の推移]



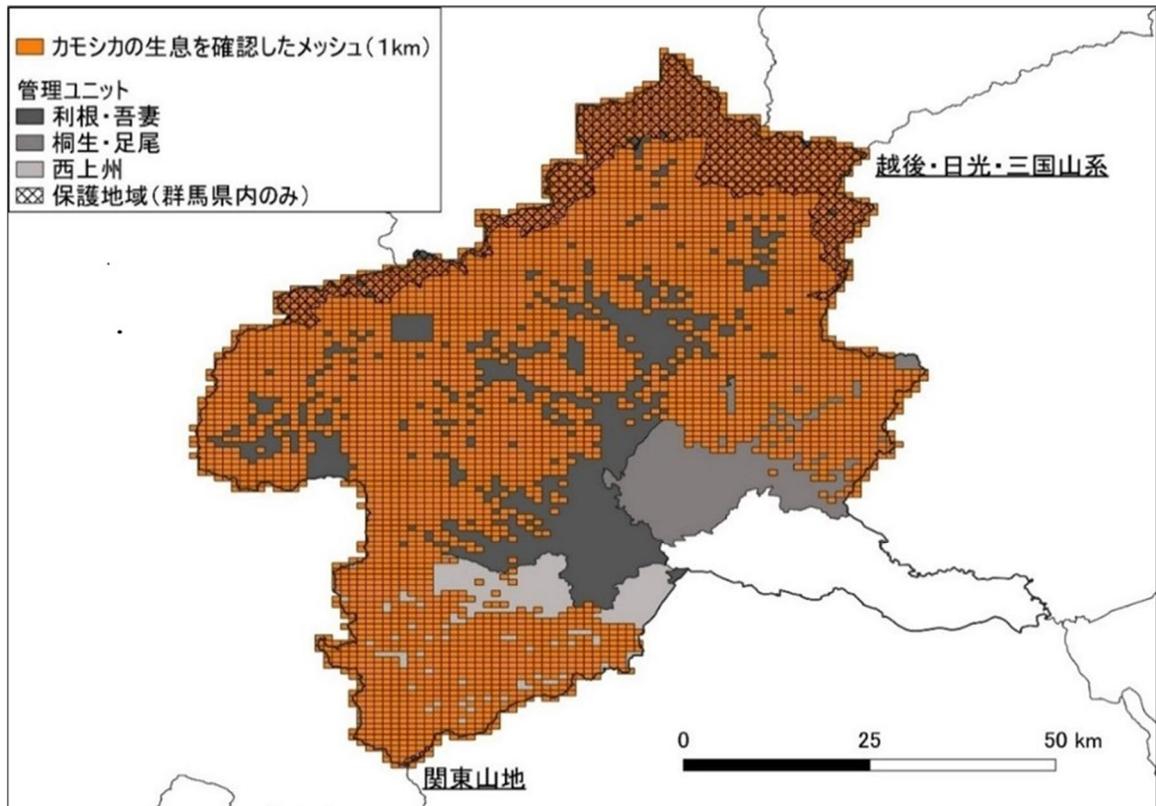
〔図－7 私有林齢級別面積（2024年（令和6年）4月1日現在）〕

(3) 生息頭数・生息密度

県内のカモシカ生息個体数を推計するにあたり、利根・吾妻地域（上信越・南会津個体群）は、越後・日光・三国山系カモシカ保護地域を含んでいるため、保護地域内と外に分けた。また、西上州地域（秩父・多摩個体群）は関東山地カモシカ保護地域を含むが、面積が非常に狭いため、全域で平均生息密度を算出し、全域のカモシカ分布面積を乗ずる方法を用いた。なお、桐生・足尾地域（日光・足尾個体群）は保護地域を含んでいない。カモシカの分布面積は、中大型哺乳類分布調査（2018年度（平成30年度）における県内のカモシカ生息分布メッシュから、カモシカが生息していないと考えられる住宅地や開放水域等を1kmメッシュ単位で除外し、カモシカの生息分布域を1kmメッシュ単位に整理した（図－8、表－6）。なお、1kmメッシュの面積は1.037km²（東西1.122km、南北0.925km）とした。

2020年～2024年（令和2年～令和6年）に県内で実施したカモシカ生息密度調査結果を表－7から表－8に示す。あわせて、調査地点位置図を図－9に示した。図－9の地図上の数字は表－7から表－8の番号と一致する。また、地域別の平均生息密度を表－9に示す。

これらのデータを基に県内のカモシカの生息頭数を算出したところ、4,418頭（95%信頼区間：609～9,206頭）と推計（表－10）でき、第四期計画時に算出された5,684頭（95%信頼区間：3,176～8,207頭）よりも低い結果が示された。平均生息密度および生息頭数を地域別にみると、利根・吾妻地域の越後・日光・三国山系カモシカ保護地域内では増加していたが、保護地域外では大きく減少していた。桐生・足利地域の保護地域外ではあまり変わらず、西上州地域では減少していた。

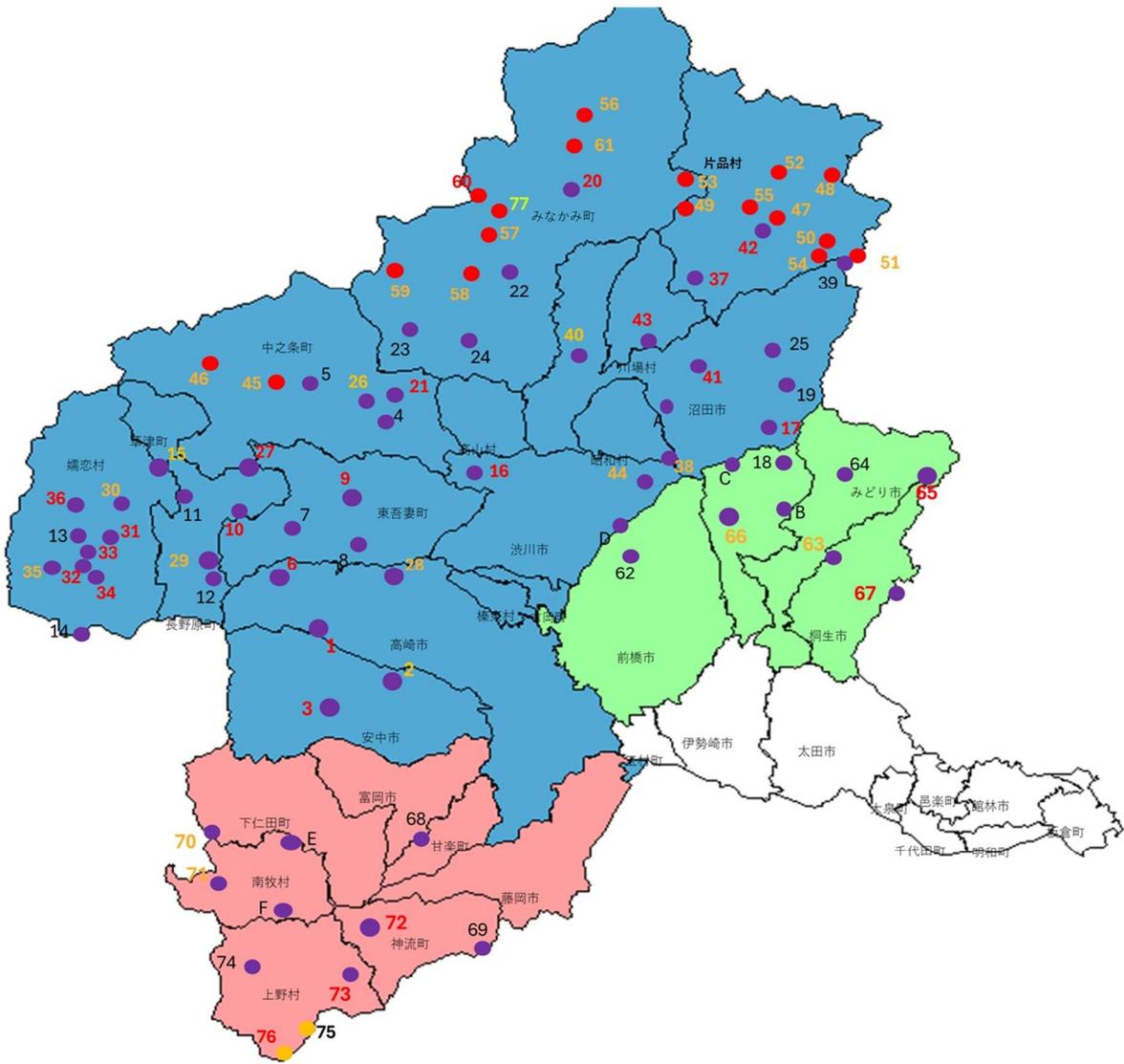


〔図－8 カモシカの生息分布メッシュ（1kmメッシュ版）〕

〔表－6 カモシカ分布面積〕

管理地域	保護地域内		保護地域外		合計	
	分布 メッシュ数	面積 (km ²)	分布 メッシュ数	面積 (km ²)	分布 メッシュ数	面積 (km ²)
利根・吾妻地域	747	774.6	2,425	2,514.7	3,172	3,289.4
桐生・足尾地域※	—	—	429	444.9	429	444.9
西上州地域	10	10.4	734	761.2	744	771.5

※桐生・足尾地域はカモシカ保護地域を含まない。



- 越後・日光・三国山系カモシカ保護地域特別調査における調査地点
- 関東山地カモシカ保護地域特別調査における調査地点
- 特別調査以外で実施する調査地点

〔図－9 生息密度調査地点位置図〕

[表-7 2024年(令和6年)に実施したカモシカ生息密度調査結果]

【保護地域外】

地域名	個体群名	市町村名	調査地点番号 ^{※1}	調査地点名	調査方法	調査年・月	生息密度(頭/km ²)	保護地域	備考
利根・吾妻地域	南会上津信越个体群	高崎市	2	日蔭本庄	区画法	2024・11	0.00	外	
		草津町	15	前口	区画法	2024・11	4.11	外	
		中之条町	26	四万	区画法	2024・11	3.10	外	
		東吾妻町	28	榛名山	区画法	2024・11	0.00	外	
		長野原町	29	狩宿	区画法	2024・11	0.00	外	
		嬭恋村	30	門貝	区画法	2024・11	2.68	外	
			35	田代湖西	区画法	2024・11	0.00	外	
		沼田市	38	砂川	区画法	2024・11	1.02	外	
			40	上発知	区画法	2024・11	0.00	外	
	44	糸之瀬	区画法	2024・11	0.00	外			
桐生・足尾地域	日光・足尾个体群	みどり市	63	座間	区画法	2024・11	3.13	外	
		桐生市	66	寒戸	区画法	2024・11	0.00	外	
西上州地域	秩父・多摩个体群	下仁田町	70	タラ久保沢	区画法	2024・11	0.00	外	
		南牧村	71	熊倉	区画法	2024・11	0.84	外	

※1 調査地点番号は図9の数字に対応

[表-8 2020~2024年(令和2~6年)に実施したカモシカ生息密度調査結果]

【保護地域内：文化財保護課による特別調査実施地点】

地域名	個体群名	市町村名	調査地点番号 ^{※1}	調査地点名	調査方法	調査年・月	生息密度(頭/km ²)	保護地域	備考
利根・吾妻地域	上信越・南会上津个体群	中之条町	45	相ノ倉	区画法	2020・10	0.00	内	
			46	野反湖	区画法	2020・10	0.00	内	
		片品村	47	ウルシ沢	区画法	2020・10	0.86	内	
			48	ニゴリ沢	区画法	2020・10	1.02	内	
			49	笠ヶ岳	区画法	2021・10	1.82	内	
			50	丸沼温泉	定点観察法	2021・12	1.27	内	
			51	蛭塚山	区画法	2021・10	0.00	内	
			52	血伏山	区画法	2021・10	0.00	内	
			53	至仏山	定点観察法	2021・4	0.32	内	
			54	唐沢山	区画法	2021・10	2.92	内	
		55	富士見下山荘	定点観察法	2021・1	1.48	内		
		みなかみ町	56	イラサワ山	定点観察法	2021・4	0.69	内	
			57	西黒尾根	区画法	2021・11	0.00	内	
			58	谷川	定点観察法	2021・1	1.75	内	
			59	平標山	定点観察法	2021・5	0.37	内	
			61	矢木沢ダム	定点観察法	2021・4	1.51	内	
	77	白毛門	定点観察法	2021・4	0.36	内			

※1 調査地点番号は図9の数字に対応

[表-9 地域別カモシカ平均生息密度]

地域	保護地域内			保護地域外		
	平均生息密度 (頭/km ² ±S.D.)	n	95%信頼区間	平均生息密度 (頭/km ² ±S.D.)	n	95%信頼区間
利根・吾妻地域	0.85 ± 0.85	17	0.44 ~ 1.25	1.09 ± 1.59	10	0.10 ~ 2.08
桐生・足尾地域	—	—	—	1.56 ± 2.21	2	0.00 ~ 4.62
西上州地域	—	—	—	0.42 ± 0.59	2	0.00 ~ 1.24

※西上州地域については、保護地域面積が非常に狭いため、全域で算出し、便宜上保護地域外に記載した。

[表-10 県内のカモシカ推計生息頭数]

地域	保護地域内		保護地域外		計	
	個体数	95%信頼区間	個体数	95%信頼区間	個体数	95%信頼区間
利根・吾妻地域	656	344 ~ 968	2,744	262 ~ 5,227	3,400	605 ~ 6,194
桐生・足尾地域	—	—	695	3 ~ 2,058	695	3 ~ 2,058
西上州地域	—	—	—	—	323	1 ~ 955
合計	—	—	—	—	4,418	609 ~ 9,206

※西上州地域については、保護地域面積が非常に狭いため、全域で算出した。

(4) 狩猟報告による目撃情報

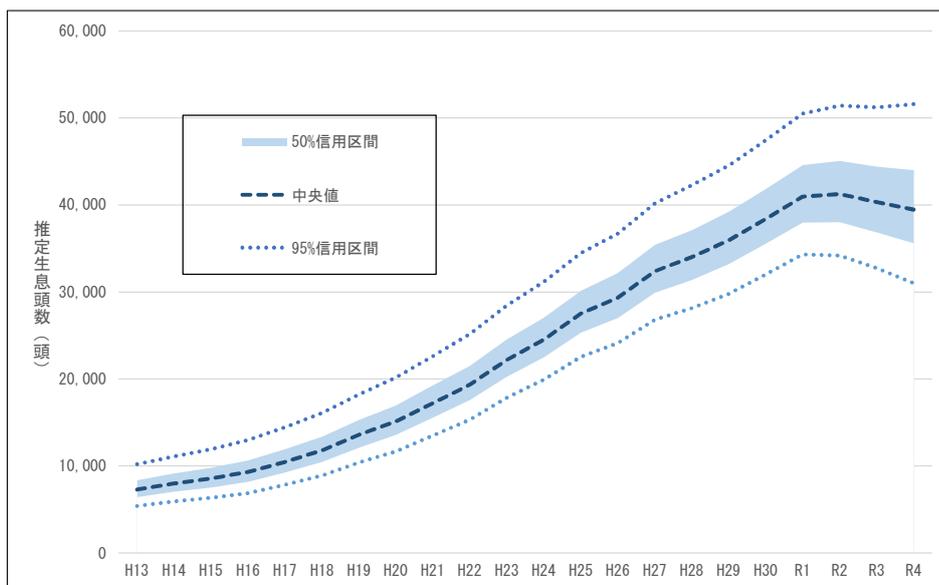
2014年（平成26年度）狩猟期から狩猟の際のカモシカを目撃している。今後も継続して情報の蓄積を行い、生息状況の把握に努める。



〔図-10 カモシカ狩猟期目撃数〕

(5) シカの生息状況

群馬県ニホンジカ適正管理計画（第二種特定鳥獣管理計画・第六期計画）によると、2022年度末（平成4年度末）における県内のシカ推定生息数は、中央値39,467頭（50%信用区間：35,598～43,991頭）と推計されている。これは、2018年（平成30年）の推定生息数（中央値40,140頭（50%信用区間：34,630～46,360頭））との比較や近年の推移の状況を見ると、近年の増加傾向からやや減少した。（図－11～図－12）シカの密度が上昇することにより、カモシカの密度が低下する可能性も懸念されており、シカの高密度化と急速な分布拡大がカモシカの生息動向に与える影響を、今後も注視する必要がある。

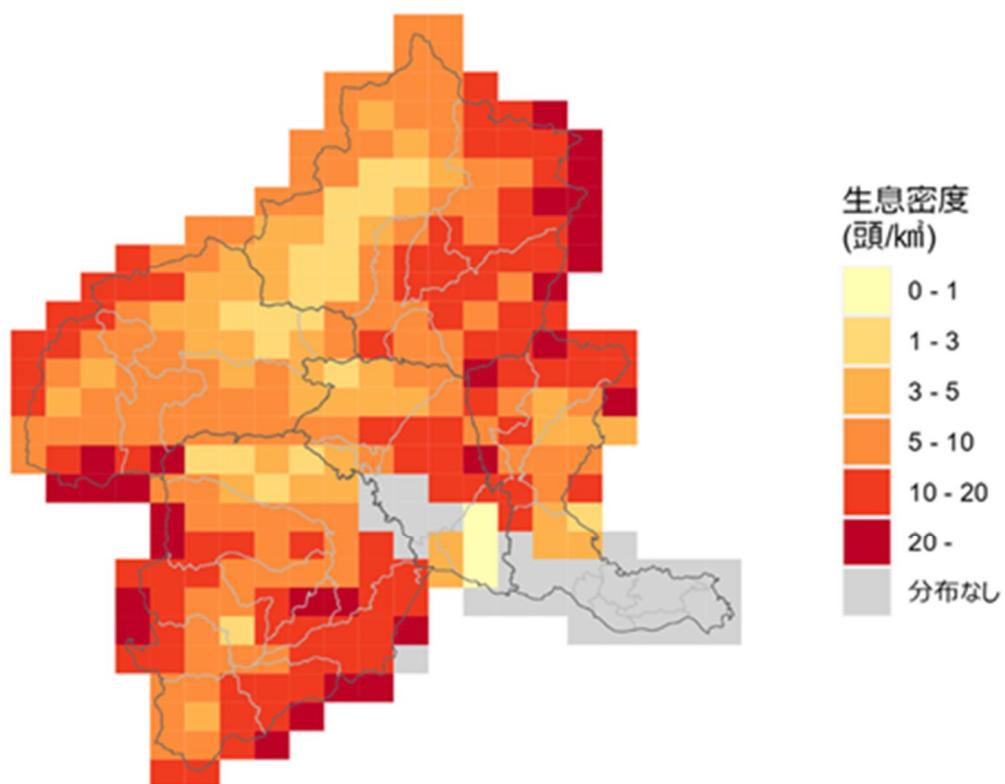


〔図－11 群馬県のシカ推定生息数の推移〕

〔表－11 群馬県におけるシカの推定生息数の推移〕

(単位:頭)

年度*	95%信用区間 下限値	50%信用区間 下限値	中央値	50%信用区間 上限値	95%信用区間 上限値
H13	5,419	6,428	7,309	8,368	10,208
H14	5,951	7,035	8,004	9,145	11,110
H15	6,350	7,526	8,570	9,820	11,922
H16	6,897	8,192	9,323	10,668	12,981
H17	7,840	9,269	10,490	11,928	14,463
H18	8,923	10,479	11,808	13,374	16,102
H19	10,414	12,142	13,587	15,305	18,219
H20	11,686	13,576	15,131	16,971	20,183
H21	13,513	15,569	17,236	19,269	22,637
H22	15,326	17,554	19,353	21,516	25,186
H23	17,856	20,261	22,202	24,530	28,460
H24	19,932	22,524	24,556	27,048	31,184
H25	22,558	25,313	27,511	30,121	34,461
H26	24,131	27,030	29,350	32,175	36,727
H27	26,811	29,907	32,405	35,394	40,189
H28	28,155	31,384	34,016	37,105	42,261
H29	29,800	33,202	35,952	39,212	44,528
H30	32,028	35,534	38,394	41,848	47,445
R1	34,323	37,983	40,962	44,594	50,505
R2	34,177	38,020	41,247	45,052	51,402
R3	32,722	36,816	40,339	44,407	51,228
R4	31,024	35,598	39,467	43,991	51,570

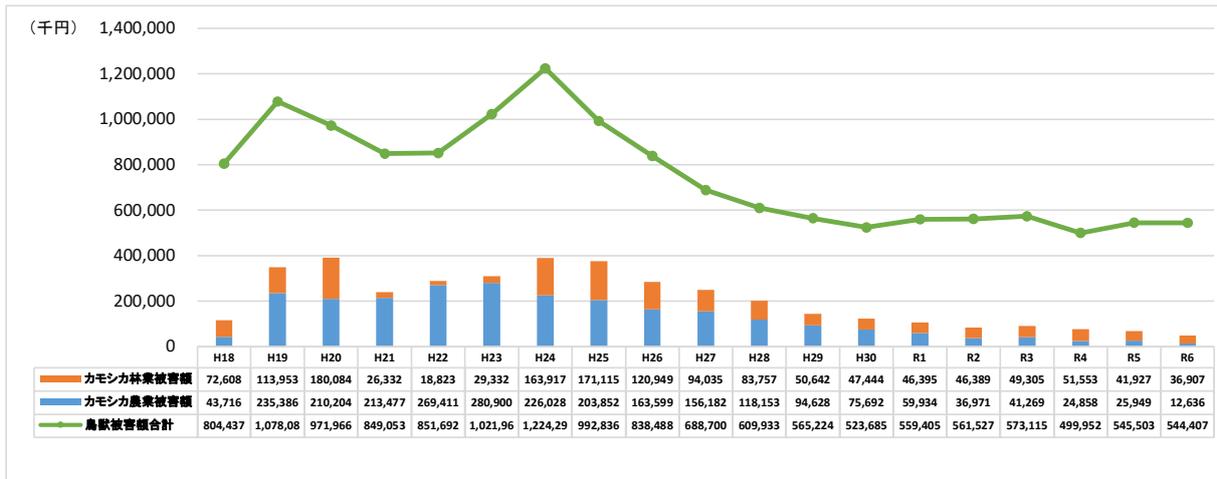


[図-12 令和4年度シカ生息密度分布図]

5 被害状況

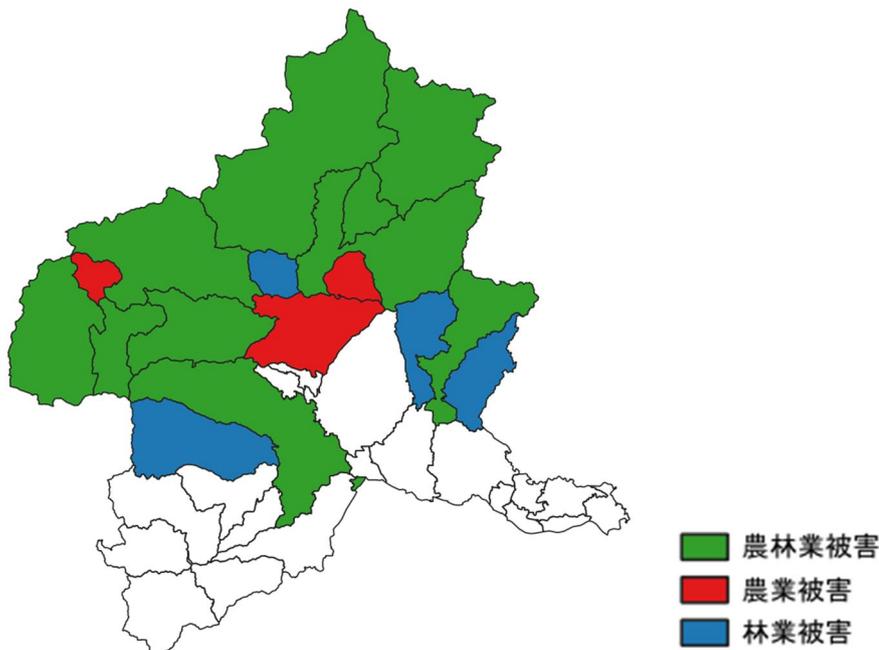
(1) 農林業被害の概要

2007年度（平成19年度）以降、カモシカによる農林業被害額は、県内の野生鳥獣による農林業被害額の3割から4割程度を占めていたが、近年は減少傾向にあり、2024年度（令和6年度）は1割を下回った。特に、農業被害は2007年度（平成19年度）以降、2億円を超える高水準の被害が継続して発生していたが、広域的な侵入防止柵の設置等による被害対策が進んだことなどから、2024年度（令和6年度）においては被害額が1千2百万円台となった。林業被害額については、年によって増減の幅が大きくなっているが、近年は減少傾向にある（図-13）。



〔図-13 カモシカによる農林業被害額の推移〕

また、過去10年に農林業被害が発生している市町村を図-14に示す。利根・吾妻地域を中心に農業被害・林業被害がともに発生しているほか、桐生・みどりや県南西部でも被害が発生している。



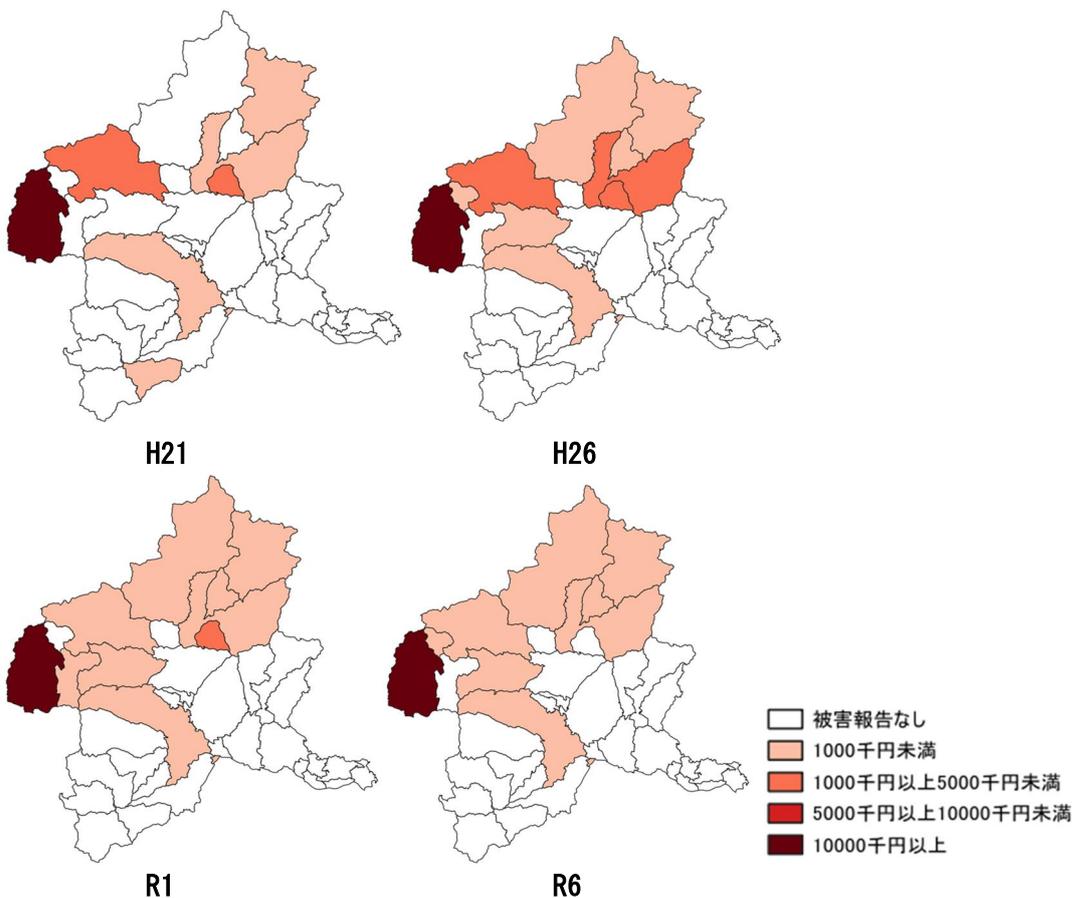
〔図-14 農林業被害の発生市町村（過去10年）〕

(2) 農業被害

1998年度（平成10年度）からの農業被害の推移を見ると、農業被害額は2007年度（平成19年度）から急激に増加し、以降2億円を超える被害を出していたが、2012年度（平成24年度）をピークに近年は減少傾向にあり、2024年度（令和6年度）は1千2百万円台の被害額となった。なお、被害額はほぼ被害面積と比例して増減している（図-15）。また、2004年度（平成16年度）は吾妻地域や利根沼田地域の一部市町村のみが主な被害地域であったが、以降、県南西部の一部にも被害地域は拡大し、現在は、吾妻地域や利根沼田地域のほぼ全域に被害が見られる。被害額では嬭恋村の被害額が特に大きい（図-16）。被害金額ベースでは、野菜への被害が約99%を占めて圧倒的に多く、その他は豆類、いも類、果樹、工芸作物などへの被害である（表-12）。



〔図-15 農業被害額・被害面積の推移〕



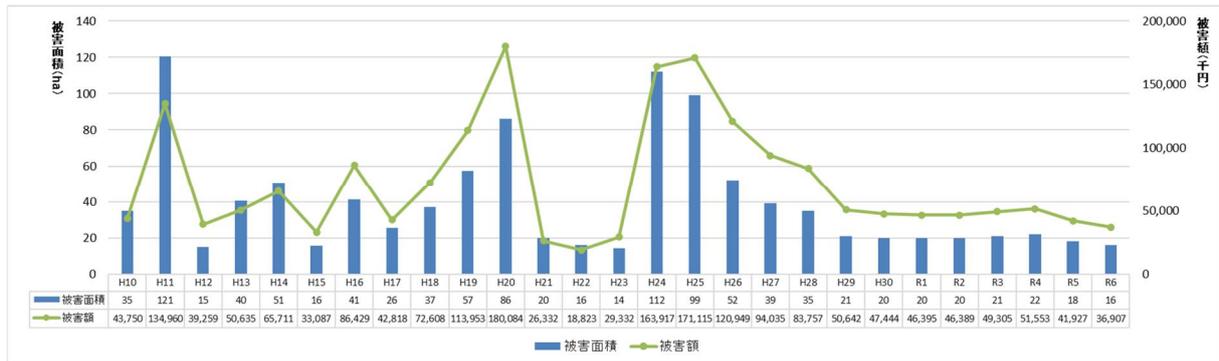
〔図-16 市町村別農業被害の分布推移〕

[表-12 市町村別・農作物別被害金額]

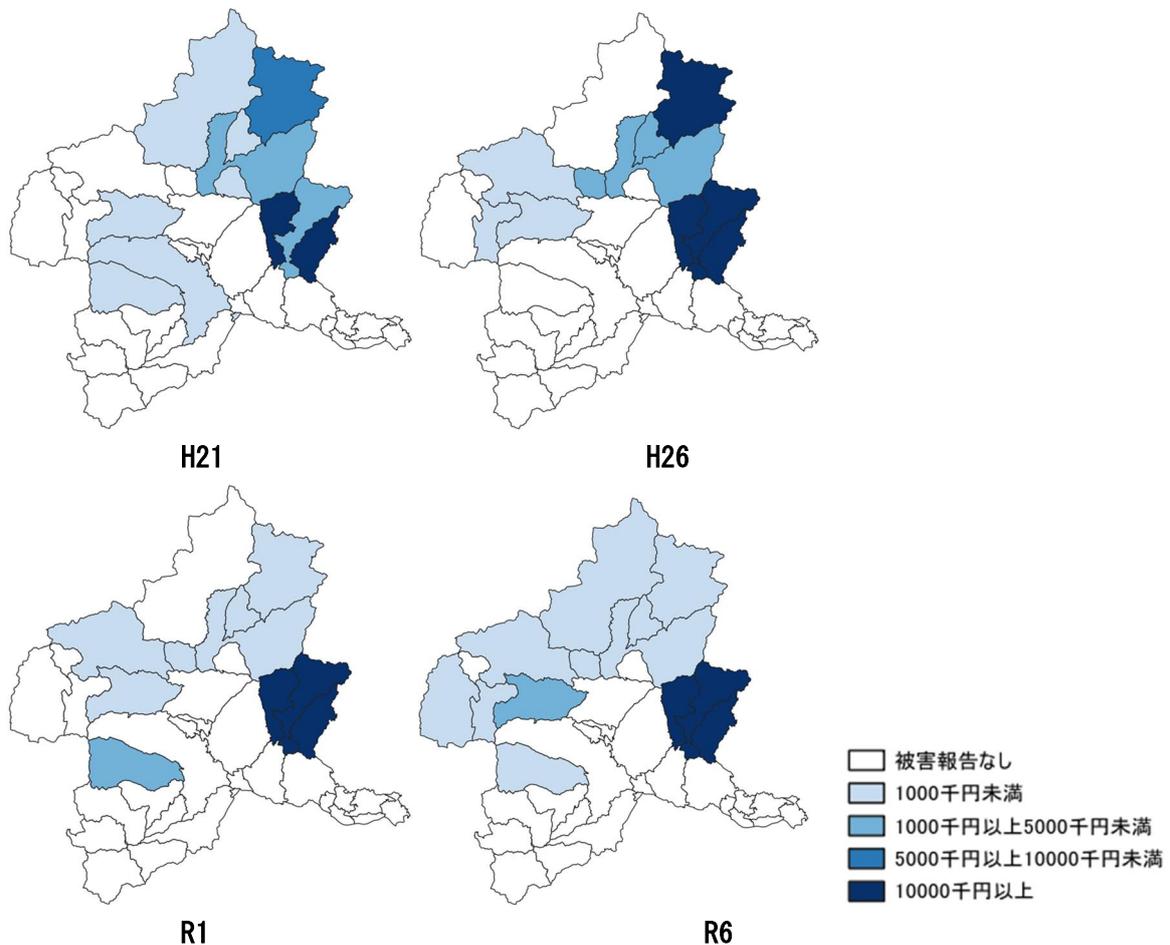
		(単位:千円)															
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	総計
洗川市	野菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	142
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	142
高崎市	野菜	0	394	120	120	120	60	90	72	71	71	66	71	63	64	60	1,442
	計	0	394	120	120	120	60	90	72	71	71	66	71	63	64	60	1,442
上野村	豆類		65														65
	計		65														65
埴流町	野菜	0	20	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102
	計	0	20	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	102
中之条町	野菜	279	564	1,470	363	1,091	745	365	94	57	550	220	320	97	227	27	6,469
	計	279	564	1,470	363	1,091	745	365	94	57	550	220	320	97	227	27	6,469
中之条町(旧 六合村)	野菜				804	1		200					300				1,305
	計				804	1		200					300				1,305
長野原町	野菜	20	18	25	8	30		105	5	10					107		408
	計	20	18	25	8	30		105	5	10					107		408
鎌志村	野菜	39	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117
	計	39	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117
草津町	野菜	39	453	241	120	120	60	90	72	71	71	66	71	63	64	60	1,661
	計	39	453	241	120	120	60	90	72	71	71	66	71	63	64	60	1,661
高山村	野菜	279	564	1,470	363	1,091	745	365	94	57	550	220	320	97	227	27	6,469
	計	279	564	1,470	363	1,091	745	365	94	57	550	220	320	97	227	27	6,469
東吾妻町	野菜																0
	計																0
沼田市	野菜	258,732	268,998	214,762	194,563	155,316	148,866	111,014	88,507	70,652	54,741	34,443	38,388	22,838	23,189	11,089	1,696,128
	計	258,732	268,998	214,762	194,563	155,316	148,866	111,014	88,507	70,652	54,741	34,443	38,388	22,838	23,189	11,089	1,696,128
片品村	野菜	445	445	445	825	270	281	225	520	350	650		56		4		4,519
	計	445	445	445	825	270	281	225	520	350	650		56		4		4,519
川場村	野菜	794	783	744	825	410	331	270	550	432	750	0	56	0	672	141	6,758
	計	794	783	744	825	410	331	270	550	432	750	0	56	0	672	141	6,758
沼田市(旧 白沢村)	野菜	710	711	842	1,842	1,431	682	551	531	266	189	8	0	12	0	39	7,814
	計	710	711	842	1,842	1,431	682	551	531	266	189	8	0	12	0	39	7,814
沼田市(旧 利根村)	野菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みどり市(旧 勢東村)	野菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県計	野菜	261,741	278,416	222,727	201,671	162,558	155,289	117,277	94,024	75,251	58,888	35,992	39,928	24,777	24,357	11,793	1,764,687
	計	261,741	278,416	222,727	201,671	162,558	155,289	117,277	94,024	75,251	58,888	35,992	39,928	24,777	24,357	11,793	1,764,687

(3) 林業被害

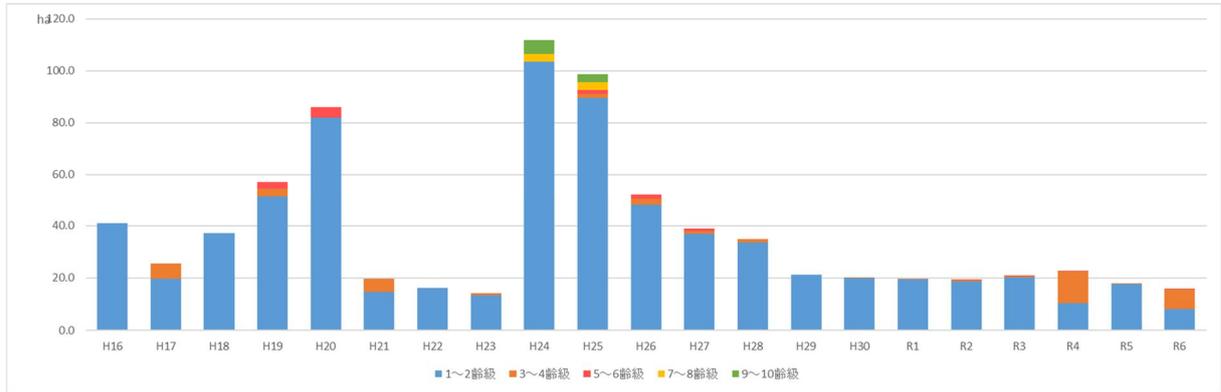
1998年度（平成10年度）からの林業被害の推移を見ると、林業被害額は1999年度（平成11年度）に1億円を超え、その後は増減を繰り返し、2012年度（平成24年度）には再び1億円を超える被害額が発生したが、近年は減少傾向で推移している。なお、被害額は被害面積と比例して増減している傾向にある（図-17）。また、被害発生市町村は年度によってバラツキがあるが、桐生・みどり地域と利根沼田地域では恒常的に被害が発生しており、特に桐生・みどり地域の被害額が大きくなっている（図-18）。被害は植栽直後の1～2年齢級の幼齢林で多く発生しており、下刈り等の保育作業と並行した対策の実施が必要である（図-19）。



〔図-17 林業被害額・被害面積の推移〕



〔図-18 市町村別林業被害の分布推移〕



〔図－19 齢級別林業被害実損面積の推移〕

(4) 人身被害等

県内のカモシカによる人身被害等の発生状況を表－13に示す。その他、市町村には住宅街付近での目撃情報や威嚇された事例などが報告されているが、明確な統計としての記録はない。

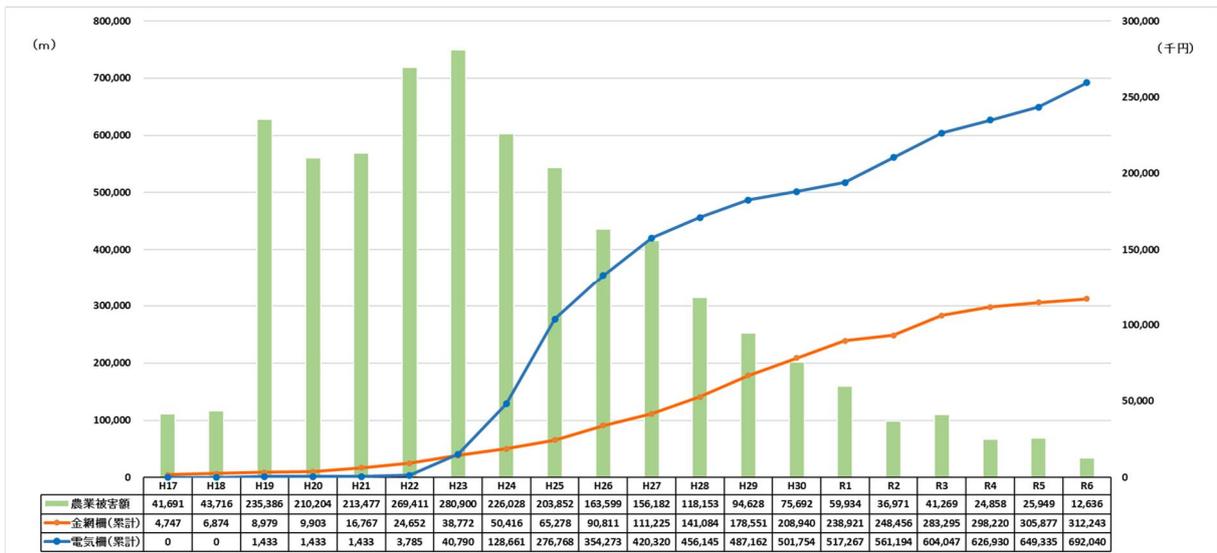
〔表－13 人身被害等の発生状況〕

発生日	地域	内容
2008 (H20) . 5	桐生市新里町	ゴルフ場に居座り、客及び従業員を威嚇
2009 (H21) . 2. 3	みどり市東町	70歳の女性が突き飛ばされた
2010 (H22) . 5. 13	高崎市箕郷町	金型工場内に侵入し、従業員を威嚇
2013 (H25) . 5. 21	前橋市天川大島町	企業事務所内に侵入しガラスを破壊
2013 (H25) . 8. 18	桐生市黒保根町	農作業中の女性が襲われ負傷

6 被害防除管理の状況

(1) 侵入防止柵設置実績（農業被害対策）

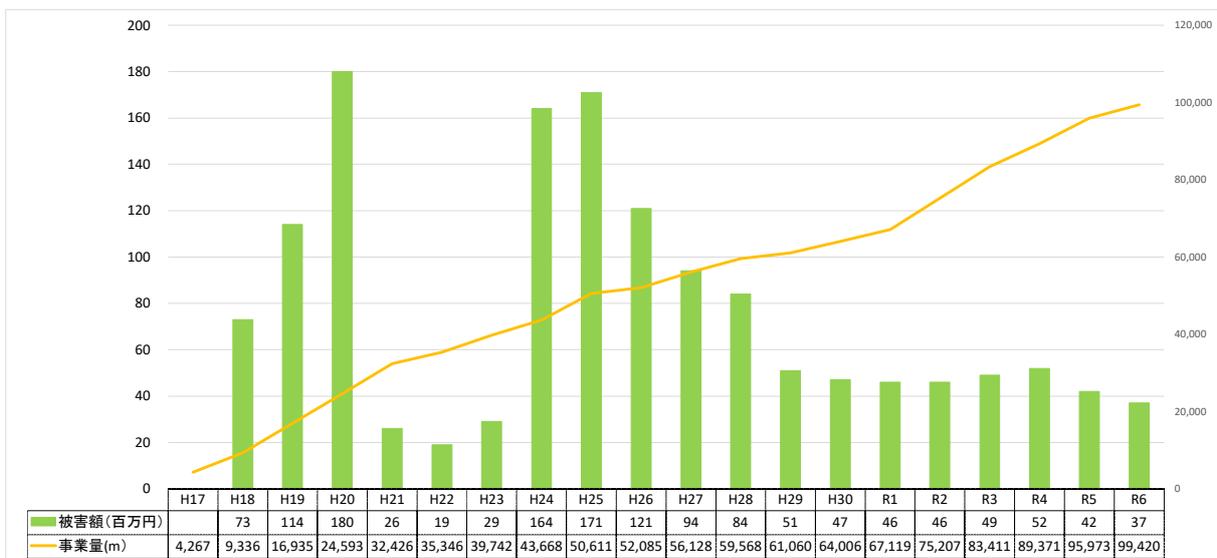
シカ対策を含めた農地への侵入防止柵の設置は、各種補助事業を活用し2011年度（平成23年度）頃から普及が進んでいる。特に、キャベツの大規模産地である婦恋村を始め、沼田市や昭和村などで設置が進んでいる。カモシカ・シカ対策として設置された侵入防止柵の実績は、図-20のとおりであり、2024年度（令和6年度）までの整備実績の総延長は、約1,000kmに及んでいる。



〔図-20 県内の農業被害対策に係る侵入防止柵設置状況（国庫・県単分）〕

(2) 侵入防止柵・食害防止資材設置状況（林業被害対策）

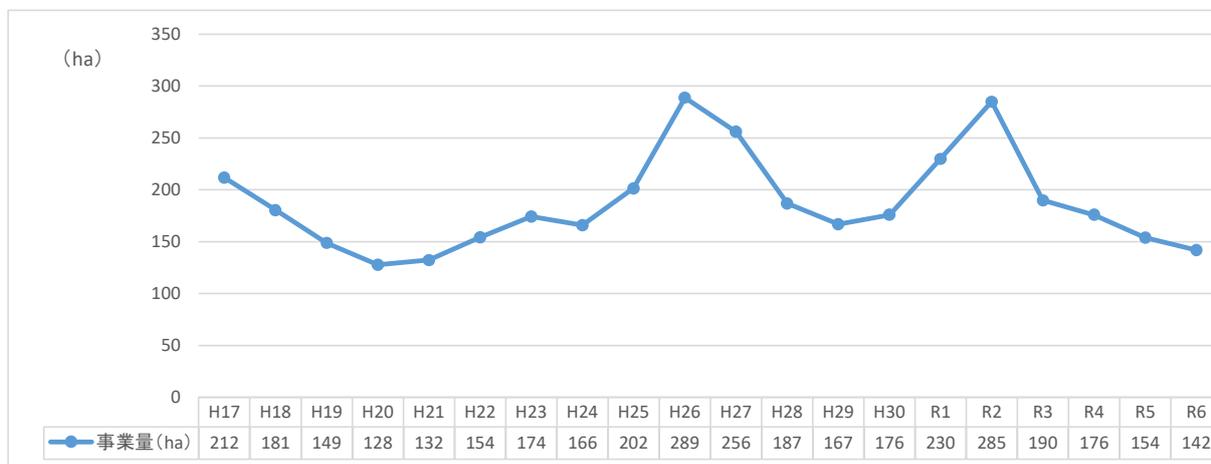
林業被害対策の物理的防除としては、侵入防止柵の設置などの食害防止資材の設置が実施されている。カモシカ・シカ対策として設置された侵入防止柵の実績は、図-21のとおりである。



〔図-21 県内の林業被害対策に係る侵入防止柵設置状況（林政課）〕

(3) 忌避剤散布等実績

林業被害対策の化学的防除としては、忌避剤散布が実施されている。忌避剤散布による防除は、小面積の造林地での対策に適しているが、有効期間は3～6ヶ月であり、被害発生時期にあわせた散布が必要である。カモシカ・シカ対策としての忌避剤散布実績は、図-22のとおりである。



〔図-22 県内の林業被害対策に係る忌避剤散布状況（林政課）〕

7 個体数調整による捕獲の状況

(1) 捕獲頭数

本県では農業被害対策として、2007年（平成19年）からカモシカの個体数調整による捕獲を実施している。2007年（平成19年）に孺恋村で始まった捕獲は、現在まで6市町村において実施実績があり、合計432頭が捕獲されている（2021年度（令和3年度）計画分まで）。なお、近年は捕獲頭数が減少し、捕獲を実施する市町村は2024年度（令和6年度）時点で0となっている。なお、2009年度（平成21年度）計画分から被害発生時期における捕獲を可能とするため、年度末までとしていた計画期間を翌年10月までとしている。

[表-14 カモシカの個体数調整による捕獲頭数の推移]

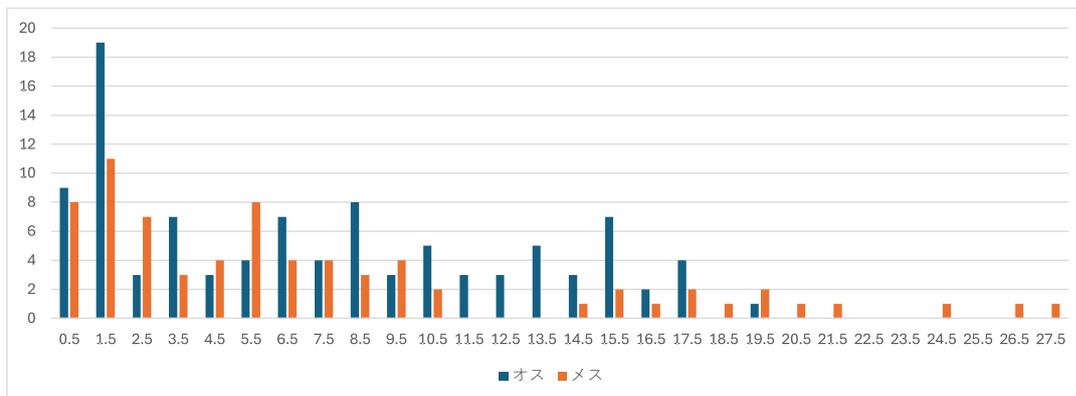
		第1期計画				第2期計画			
年度 市町村	H19計画 (H19.11~ H20.3)	H20計画 (H20.11~ H21.3)	H21計画 (H21.11~ H22.10)	H22計画 (H22.11~ H23.10)	H23計画 (H23.11~ H24.10)	H24計画 (H24.11~ H25.10)	H25計画 (H25.11~ H26.10)	H26計画 (H26.11~ H27.10)	H27計画 (H27.11~ H28.10)
	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数
孺恋村	10: 10 (6)	9: 9 (2)	9: 9 (4)	20: 20 (7)	30: 29 (14)	25: 25 (10)	20: 20 (13)	27: 17 (6)	18: 12 (3)
昭和村	-: -	-: -	7: 7 (5)	15: 15 (5)	15: 15 (6)	30: 30 (12)	20: 20 (13)	20: 7 (4)	10: 9 (5)
片品村	-: -	-: -	-: -	-: -	8: 8 (4)	16: 16 (7)	22: 20 (9)	16: 16 (10)	12: 11 (7)
沼田市	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	5: 5 (2)	9: 5 (2)	9: 6 (5)	11: 7 (2)
中之条町	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	8: 3 (1)	7: 0 (0)	3: 0 (0)	2: 0
川場村	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -
合計	10: 10 (6)	9: 9 (2)	16: 16 (9)	35: 35 (12)	53: 52 (24)	84: 79 (32)	78: 65 (37)	75: 46 (25)	53: 39 (17)

		第3期計画				第4期計画				合計
年度 市町村	H28計画 (H28.11~ H29.10)	H29計画 (H29.11~ H30.10)	H30計画 (H30.11~ R1.10)	R1計画 (R1.11~ R2.10)	R2計画 (R2.11~ R3.10)	R3計画 (R3.11~ R4.10)	R4計画 (R4.11~ R5.10)	R5計画 (R5.11~ R6.10)	R6計画 (R6.11~ R7.10)	
	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数	計画数:捕獲数
孺恋村	13: 12 (6)	6: 6 (2)	4: 4 (1)	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	173 (74)
昭和村	5: 5 (2)	3: 1	3: 1	3: 0	2: -	1: 0	-: -	-: -	-: -	110 (52)
片品村	12: 10 (2)	9: 9 (4)	6: 6 (2)	4: 3 (1)	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	99 (46)
沼田市	11: 9 (3)	11: 9 (4)	5: 4 (1)	-: -	-: -	1: 1	-: -	-: -	-: -	46 (19)
中之条町	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	3 (1)
川場村	3: 1 (1)	2: 0	1: 0	1: 0	-: -	-: -	-: -	-: -	-: -	1 (1)
合計	44: 37 (14)	31: 25 (10)	19: 15 (4)	8: 3 (1)	2: -	2: 1	-: -	-: -	-: -	432 (193)

※（ ）内はメス頭数で内数

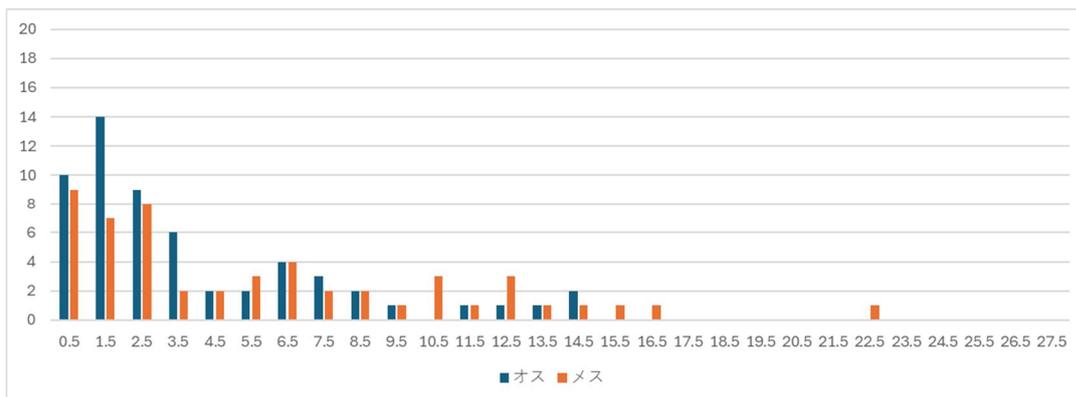
(2) 捕獲（個体数調整）個体の状況

捕獲個体については、市町村において体長、体重等を測定した後、自然史博物館へサンプルを送付し、年齢査定、妊娠状況及び食性の分析を実施している。管理捕獲を実施している市町村ごとの捕獲個体の年齢は、図-23～図-28のとおりである。また、分析が可能であった2.5歳以上のメスの妊娠率の推移を図-29に示す。なお、集計は計画年度（10月～翌11月）によって行った。



〔図-23 捕獲個体の年齢（嫺恋村） 2007～2018年度（平成19～30年度）〕

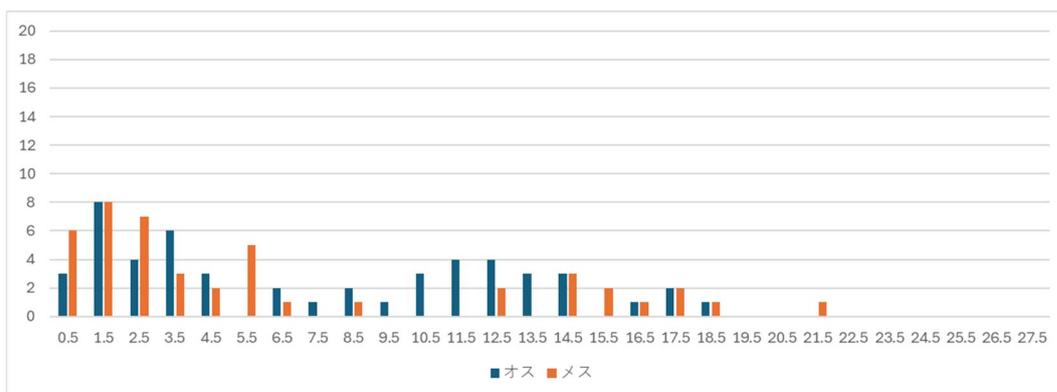
※2019年度（令和元年度）以降は捕獲を休止



〔図-24 捕獲個体の年齢（昭和村） 2009～2021年度（平成21～令和3年度）〕

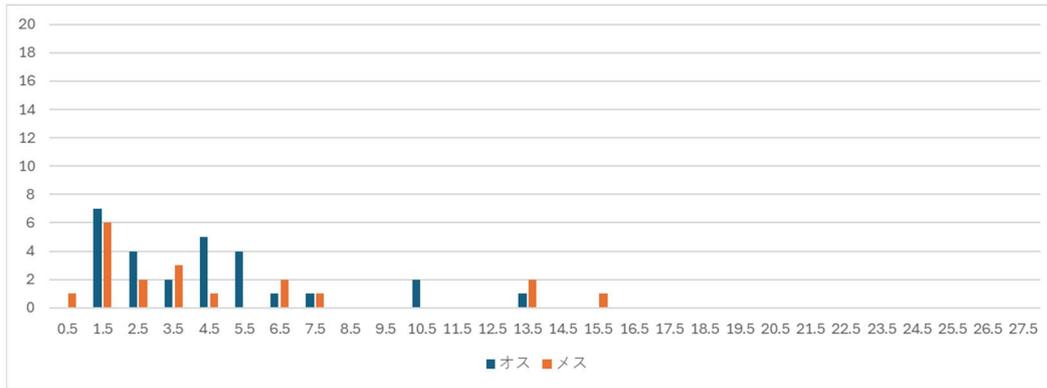
※2019年度～2021年度（令和元年度～令和3年度）は捕獲実績なし

※2022年度（令和4年度）以降は捕獲を休止



〔図-25 捕獲個体の年齢（片品村） 2011～2019年度（平成23～令和元年度）〕

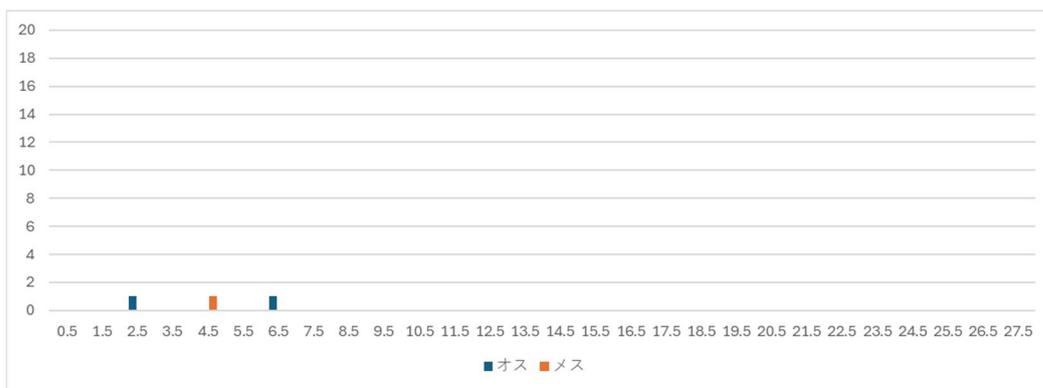
※2020年度（令和2年度）以降は捕獲を休止



〔図-26 捕獲個体の年齢（沼田市）2012～2021年度（平成24～令和3年度）〕

※2019年度～2020年度（令和元年度～令和2年度）は捕獲を休止

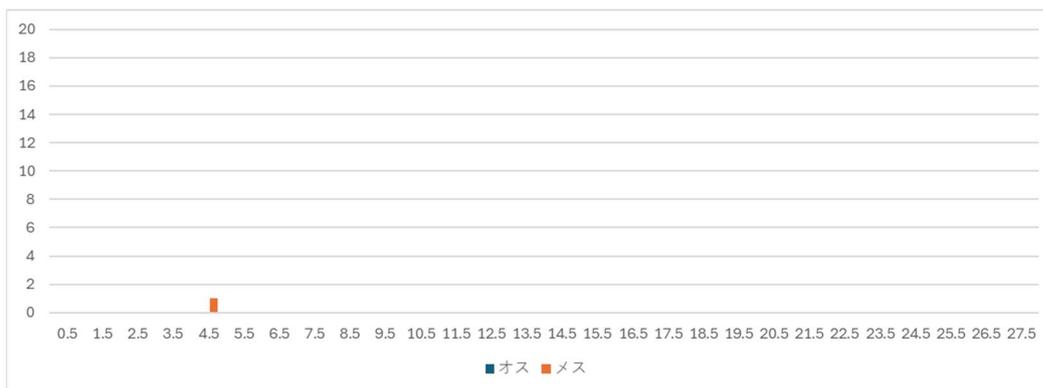
※2022年度（令和4年度）以降は捕獲を休止



〔図-27 捕獲個体の年齢（中之条町）2012～2015年度（平成24～27年度）〕

※2013～2015年度（平成25～27年度）は捕獲実績なし

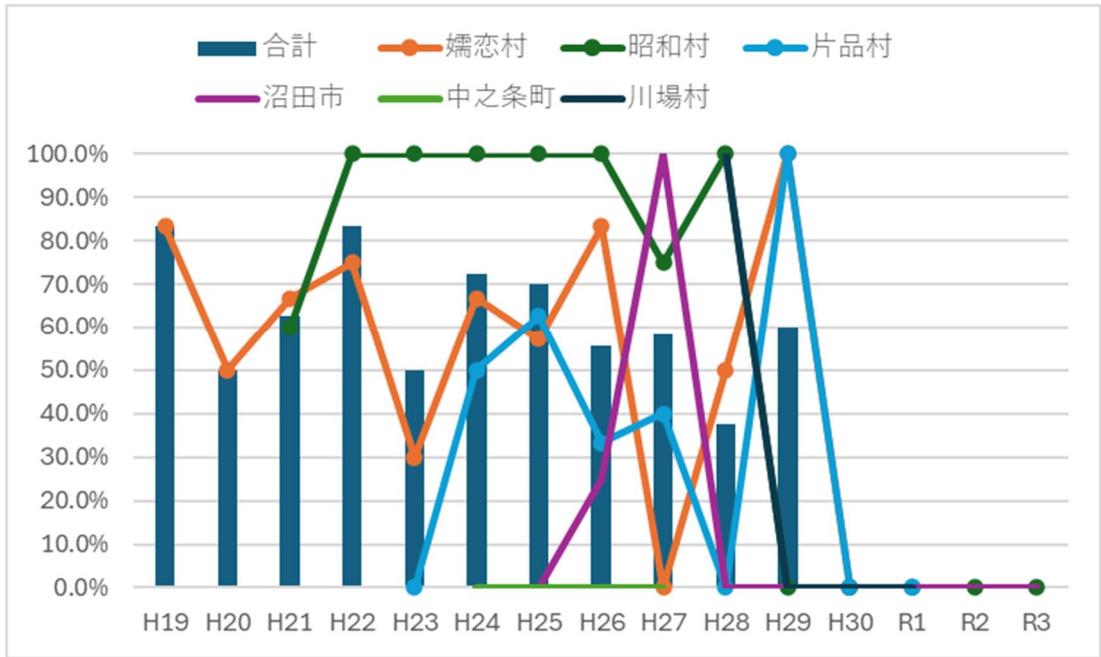
※2016年度（平成28年度）以降は捕獲を休止



〔図-28 捕獲個体の年齢（川場村）2016～2019年度（平成28～令和元年度）〕

※2017年度～2019年度（平成29年度～令和元年度）以降は捕獲実績なし

※2020年度（令和2年度）以降は捕獲を休止



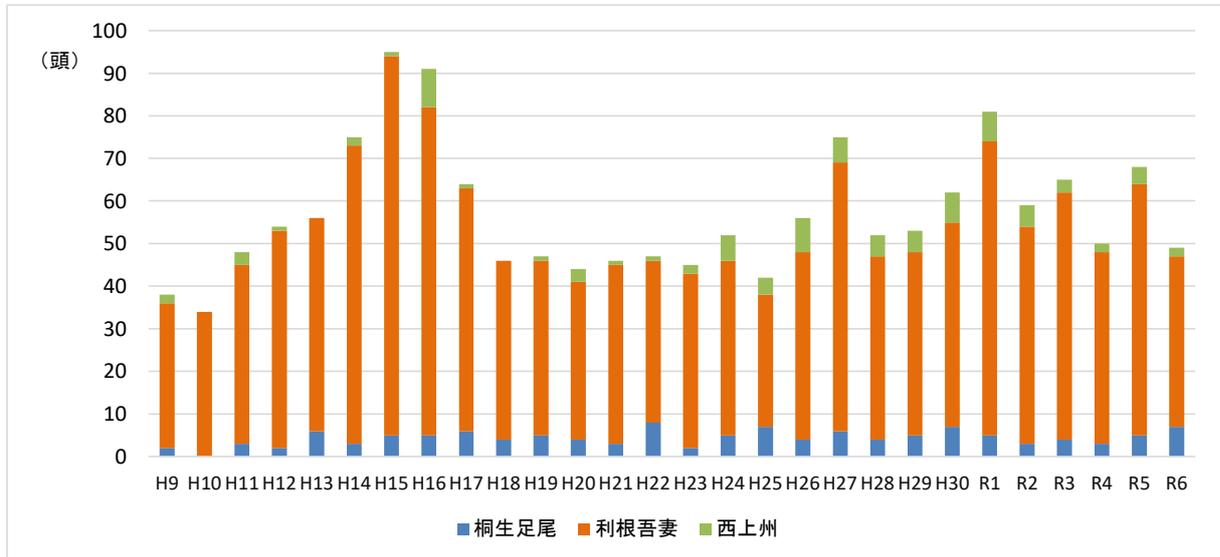
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合計	83.3%	50.0%	62.5%	83.3%	50.0%	72.2%	70.0%	55.6%	58.3%	37.5%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
孺恋村	83.3%	50.0%	66.7%	75.0%	30.0%	66.7%	57.1%	83.3%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%			
【孺恋村】2.5歳以上メス	6	2	3	4	10	6	7	6	1	2	2	1			
【孺恋村】うち妊娠個体数	5	1	2	3	3	4	4	5	0	1	2	0			
昭和村			60.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【昭和村】2.5歳以上メス			5	2	6	8	5	2	4	1	0	0	0	0	0
【昭和村】うち妊娠個体数			3	2	6	8	5	2	3	1	0	0	0	0	0
片品村					0.0%	50.0%	62.5%	33.3%	40.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
【片品村】2.5歳以上メス					2	2	8	6	5	2	1	2	0		
【片品村】うち妊娠個体数					0	1	5	2	2	0	1	0	0		
沼田市						0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【沼田市】2.5歳以上メス						1	0	4	2	2	2	0	0	0	0
【沼田市】うち妊娠個体数						0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
中之条町							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
【中之条町】2.5歳以上メス							1	0	0	0					
【中之条町】うち妊娠個体数							0	0	0	0					
川場村										100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
【川場村】2.5歳以上メス										1	0	0	0		
【川場村】うち妊娠個体数										1	0	0	0		

〔図-29 捕獲個体の妊娠率の推移（2.5歳以上のメス）〕

※2.5歳以上のメスで分析可能な個体のみ集計

8 滅失状況

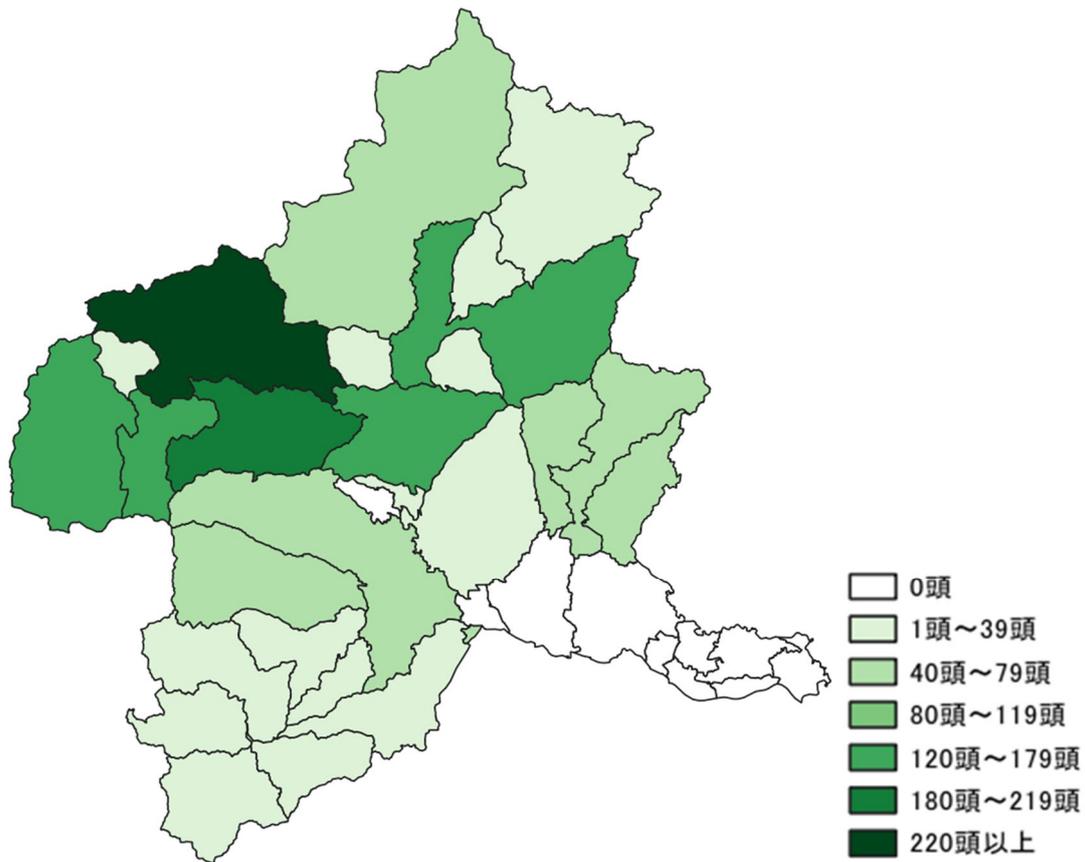
1997年度（平成9年度）以降の滅失件数の推移を図-30及び表-15に示す。年による増減はあるが、年間平均62頭となっている。地域別では、利根・吾妻地域における滅失件数が全体の8割以上を占めている。また、1997年度（平成9年度）以降の滅失件数の累計を図-31に、2010年度（平成22年度）以降のカモシカ滅失個体の死因を図-32に示す。



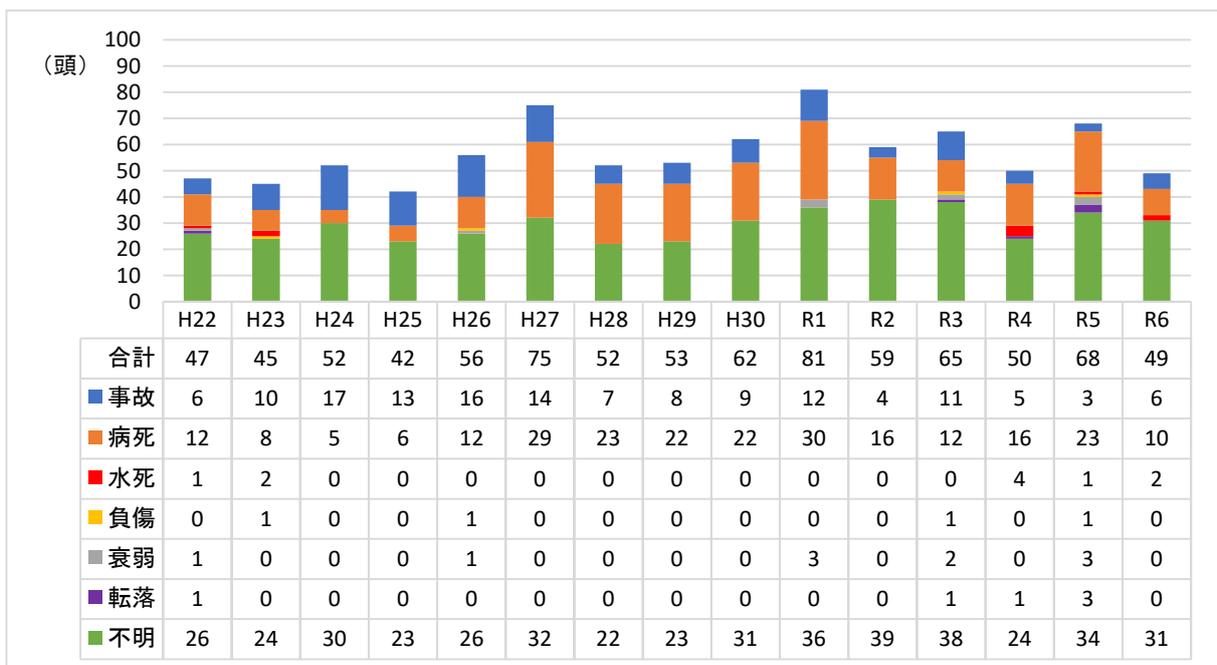
〔図-30 カモシカ滅失件数の推移〕

〔表-15 市町村別滅失件数〕

市町村名	地域	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
高崎市	利根吾妻						1					2		1	2		1				4	2	2	5	7	2	2	4	4					
沼田市	利根吾妻	2	1	3	4	5	3	3	10	9		6	3	7	4	7	3	2	8	5	11	6	7	9	5	3	1	5	4					
渋川市	利根吾妻				2	4	5	6	10	5	6	4	2	1	4	4	4	4	5	5	6	4	7	6	12	6	8	7	6					
安中市	利根吾妻	1					1		3		1				2	2	3	2	5	6	3	1	3	5	2	5	1	6	3					
榛東村	利根吾妻																																	
吉岡町	利根吾妻													1	1									2					1					
中之条町	利根吾妻	8	10	11	16	22	26	28	16	7	12	7	6	10	10	6	7	5	9	15	1	7	8	11	5	15	10	16	5					
東吾妻町	利根吾妻	6	7	15	4	5	7	14	5	7	8	8	7	7	3	1	3	3	4	4	4	3	4	13	6	9	6	11	9					
長野原町	利根吾妻	6	7	4	7	5	7	15	9	5	5	3	6	3	5	4	4	3	9	15	8	9	3	11	6	8	6	1	3					
嬭恋村	利根吾妻	5	5	1	2	1	4	5	3	8	2	6	6	3	2	7	5	7	4	4	5		3	3	10	8	7	6	3					
草津町	利根吾妻	1	1	2	7	2	2	5	2	2	1	2	2	1	2	3	3					2												
高山村	利根吾妻				2		1	2	5	2					1		1	1		1	1	3	6	1	3	1	0	0	1					
片品村	利根吾妻		1	3		2	1	1			1		2	2	3	2	6	3		2	1	4		1	0	0	1	2	0					
川場村	利根吾妻			1	1			1		3	1		1																1					
みなかみ町	利根吾妻	4	3	4	3	5	9	9	11	9	3	2	1	5		4	1			1		1		1	0	0	0	0	0					
昭和村	利根吾妻	1				1	2		2			3				1		1			1	1	1		1	0	1	1	0	1				
前橋市	桐生足尾			1		1	1	2	1							1						1	2	1	1	0	1	0	0	0				
桐生市	桐生足尾	2		2	2	5	1	2	2	4	3	4	1	2	2		4	5	1	4		2	4	2	1	1	3	4	3					
みどり市	桐生足尾					1	1	2	2	1	1	3	1	6	1	1	2	3	2	3	1	2	2	2	2	2	2	0	2	3				
藤岡市	西上州														1				1				2											
富岡市	西上州														2							1	1											
神流町	西上州						1																											
上野村	西上州	1		3	1		2	1	7	1						2					2					1								
下仁田町	西上州							1				3	1	1	2							3	5	2	2	1	6	1	2	1	1	3	1	
南牧村	西上州	1										1					1		1	2	3	1		3	2	1	1	0	1	1				
甘楽町	西上州																	1	1					3	0	1	0	0	1	1				
伊勢崎市	—																																	
太田市	—																																	
館林市	—																																	
玉村町	—																																	
板倉町	—																																	
明和町	—																																	
千代田町	—																																	
大泉町	—																																	
邑楽町	—																																	
合計		38	34	48	54	56	75	95	91	64	46	47	44	46	47	45	52	42	56	75	52	53	62	81	59	65	50	68	49					



〔図－31 カモシカ減失累計数（1997～2024年度（平成9～令和6年度））〕



〔図－32 カモシカ減失個体の死因（2010～2024年度（平成22～令和6年度））〕